

第 2 号議案 アルスヴィータ 2017 年度事業計画

1. 地域の医療・福祉をめぐる情勢の特徴

(1) 安倍政権の政策を乗り越え、2030 年代の日本社会を見据えた地域戦略が必要

- ① 安倍政権のすすめる戦争政策やアベノミクスと国民の願い、生活との矛盾がますます拡大しています。
- ② 超高齢化や人口減少などの問題を解決する地域別の戦略づくりが求められています。
- ③ 日本の超高齢社会に向けた戦略が世界とアジアのモデルとなる可能性があります。

(2) 国の社会保障削減政策と地域のくらし、医療・福祉の実態との矛盾が拡大

- ① 社会保障費の削減策は地域の矛盾を広げ、合理性の限界を超えています。
- ② 地域の貧困対策と格差是正、健康不安の解消、孤立防止が焦眉の課題です。
- ③ 基礎自治体の社会保障政策ととりくみを支援する必要があります。
- ④ 地域住民が自主的に医療・福祉を確保する運動をつくる必要があります。

(3) 2018 年度の制度改革に対応したまちづくりと事業戦略が求められる

- ① 地域別、事業別の 2018 年度制度改革対応が求められます。
- ② 政府の「『我が事・丸ごと』地域共生社会」は、自助を基礎としている限り、住民主体の地域包括ケアとは対立します。
- ③ 社会保障の充実による地域包括ケア戦略と事業づくりが求められています。

2. 2017 年度 事業計画の重点

(1) 理論・研究活動の強化

- ① アルスヴィータの思想の普及

- アルスヴィータは、アジアと世界の高齢社会の課題の解決をめざします。
 - まず、日本の基礎自治体と住民運動による高齢社会のまちづくりモデルづくりにとりくみます。
- ② 政府の医療・福祉政策の研究
- 『我が事・丸ごと』地域共生社会の「自助」中心主義と社会保障解体の批判的研究を行います。
 - 「新オレンジプラン」「データヘルス計画」などの政策評価と実践課題について研究を行います。
- ③ 医療・福祉のまちづくりの研究
- 自治体の介護・福祉計画づくりに関与し、地域の医療・福祉づくりを支援します。
 - 協同組合づくりなどを通じて住民が主体的に地域の医療・福祉をつくる運動に参画する機会を増やします。

(2) 会員・研究員の拡大

- ① 賛助会員を新たに 10 団体、個人会員 100 人増やします。
- 団体会員の拡大のために一口年会費を 2 万円にします。
 - 学生・若者の加入を重視し、学生の個人会費を一口 1,000 円とします。
- ② 研究者の加入を推進し、調査研究活動を前進させます。
- 学生・院生が研究者として成長することを支援します。
 - 若者がアルスヴィータの研修や教育プログラムに参加して成長し、医療・福祉の担い手になるよう支援します。

(3) 3ヶ年の中期事業計画を策定し、剰余を確保します。

- ① 3ヶ年事業計画を策定します。
- 着実に剰余を確保し、2018 年度に創業時の欠損を解消します。
 - 沖縄県の基礎自治体と福祉のまちづくりの共同を進めます。
 - 東京都南部を中心に、住民主体の福祉のまちづくりを支援します。
- ② 2017年度、100万円の剰余を確保します。
- 売上総利益 1,000 万円をめざして事業活動を広げます。

3. 部門別事業計画

(1) 調査・研究部門

- ③ 沖縄県南大東村の「福祉・介護計画」の実現を支援します。

- 南大東村と福祉介護計画実現のための協議を続けます。
- 南大東村社会福祉協議会の事業活動を支援します。
- ④ **沖縄県での福祉・介護計画の策定を支援します。**
 - 沖縄県多良間村・伊是名村などでの高齢者要求調査の受託をめざします。
 - 沖縄県介護保険広域連合の第7期介護保険事業計画策定への支援を申し出ます。
- ⑤ **稲城市での医療福祉生協づくりを支援します。**
 - 2019年度の法人設立をめざす地域活動を支援します。
 - 医療福祉生協に必要な人材の確保と育成を支援します。
- ⑥ **東京都内の自治体の医療・福祉政策やくらしの実態調査を行います。**
 - 中野区、杉並区、世田谷区、新宿区、三鷹市、小金井市、多摩市、日野市、狛江市、調布市などの自治体の医療・介護の実態の調査を順次行います。
 - それぞれの地域で求められる医療・介護事業の内容等について提言をまとめます。

(2) **コンサルティング部門**

- ① **医療・介護事業を行う法人の総合コンサルティング事業を再開します。**
 - 関東、関西を中心に5法人のコンサルティングを行います。
 - 会員の要請に応じたコンサルティングを行います。
- ② **引き続きCMIを行い、参加事業所を増やします。**
 - 会員法人の診療所経営と運営改善を支援します。
 - 2018年度の医療・介護の報酬改定に合わせた地域戦略づくりを支援します。

(3) **教育・研修部門**

- ① **引き続き、医療・福祉に関するセミナーを実施します。**
 - 2018年度の医療・介護の報酬改定対応セミナーを開催します。
 - 『我が事・丸ごと』地域共生社会」セミナーを開催します。
- ② **医療・福祉事業者の幹部・後継者育成のための連続講座（塾）を開始します。**
 - 2017年度後期から若手の幹部予定者の教育事業として塾を開催します。

(4) 出版部門

- ① アルスヴィータの思想を広めるため、年間で3種類の書籍を出版します。
 - 日野理事長の理論政策活動をまとめ、出版します。
 - 情勢やまちづくりに関するアルスヴィータの考え方をまとめて出版します。
 - 南大東村のとりくみをまとめ、出版できるよう準備します。

(5) 広報活動

- ① ホームページを定期更新し、フェイスブック、メルマガを定期発行します。
 - ホームページは月 2 回更新、フェイスブック、メルマガは週 1 回発行します。
- ② 新たに広く知人へのニュースレターを発行します。
 - アルスヴィータの理念や政策提言、活動を知らせるニュースレターを発行します。

4. 2017年度 活動計画

年 月	行 事	定例研究会・理事会等
2017年		
4月	南大東村福祉・介護計画 提出 稲城市医療福祉生協設立懇談	社員総会
5月	南大東村福祉・介護視察（北海道） 南大東村社会福祉協議会訪問	
6月	沖縄県自治体訪問	
7月	『我が事・丸ごと』地域共生社会」セミナー	
8月		
9月	社会保障セミナー	理事会②
10月		
11月		
12月	2018 予算作りセミナー	
2018年		
1月		理事会③
2月	診療報酬・介護報酬対応セミナー	
3月		

